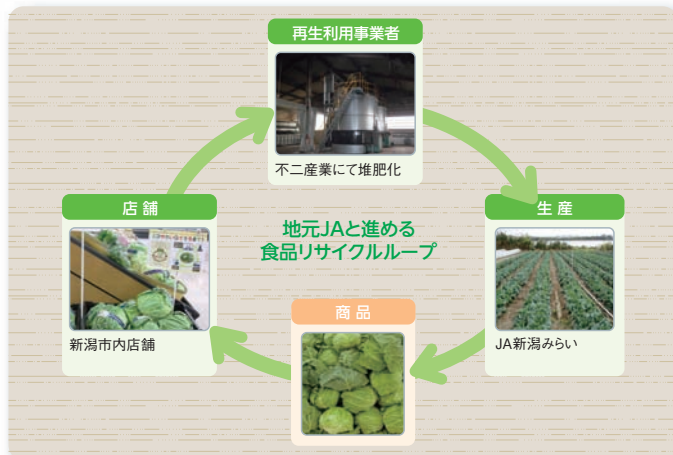


不二産業・JA新潟みらい【新潟県】

2011年から新潟県下の店舗から排出される食品残さを再生利用事業者（不二産業：堆肥化）に搬入し堆肥を製造、JA新潟みらいでこの堆肥を使って栽培した作物を店舗で販売しています。

●2012年5月…食品リサイクル法再生利用事業計画申請



静岡油化工業・地元の農業生産者【静岡県・山梨県】

2010年から静岡・山梨県下の店舗から排出される食品残さ（天ぷらかす）を再生利用事業者（静岡油化工業：堆肥化）に搬入し堆肥を製造、地元の農業生産者でこの堆肥を使って栽培した作物を店舗で販売します。

●2012年7月…食品リサイクル法再生利用事業計画申請予定



富山グリーンフードリサイクル・JAなのはな【富山県】

2003年から富山県下の店舗から排出される食品残さを再生利用事業者（富山グリーンフードリサイクル：メタン化）に搬入し、メタンガスを取り出した後の副産物で堆肥を製造、2008年からJAなのはなでこの堆肥を使って栽培した作物を店舗で販売しています。



食品廃棄物発生抑制目標の設定

食品廃棄物等の発生抑制の目標値が設定されました。2012年度は、発生抑制の重要性が高い業種から先行して目標値を設定しました。当面は暫定目標値として実施されますが、食品関連事業者は食品廃棄物等の単位当たりの発生量がこの目標値以下になるよう努力が必要です。

発生抑制の目標値一覧（2012年4月～2014年3月）

業種	業種区分	暫定目標値
食品製造業	肉加工品製造業	売上高百万円あたり 113kg
	パン製造業	売上高百万円あたり 194kg
	そう菜製造業	売上高百万円あたり 403kg
	すし・弁当・調理パン製造業	売上高百万円あたり 224kg
食品卸売業	食料・飲料卸売業（飲料を中心とするものに限り）	売上高百万円あたり 14.8kg
	食料・飲料卸売業（飲料を中心とするものを除く）	売上高百万円あたり 4.78kg
食品小売業	各種食料品小売業	売上高百万円あたり 65.6kg
	菓子・パン小売業	売上高百万円あたり 106.0kg
	コンビニエンスストア	売上高百万円あたり 44.1kg

※食品廃棄物の発生量と密接な関係を持つ値（売上高、製造数量等）当たりの発生量を、発生原単位（単位当たりの発生量）といいます。

食品リサイクル普及に向けての取り組み

農業体験

食品リサイクルループを体感してもらいました。食品残さが堆肥になる過程での臭いや温度を体感して、また田植えや収穫体験を通して、食べるということは多くの生き物との関わりによって成り立っているという「生物多様性」も学びました。



JAあいち海部のエコ部会

食品リサイクルループで地域循環型農業を実践しているJAあいち海部のエコ部会総会が開催されました。食品残さを原料にした堆肥を使った栽培は、堆肥の形質や栄養成分などの知識や技術が必要です。エコ部会では毎月生産計画と販売計画のすりあわせをユニー青果部と行い、食品リサイクルループの継続的発展を確認しあっています。



消費者交流

循環型農業で生産している農業生産者と消費者の交流会を定期的に開催しています。農業体験や郷土料理を味わいながら、安全安心な作物作りにかかる生産者の努力を知ってもらいました。さらに消費者からも生産者への要望をお聞きしました。



食品リサイクル法 2011年度定期報告書

■再生利用等実施率 64.1%

（2011年度単純実施率に2007年度比の発生抑制を加味した数値）

■食品廃棄物等の発生原単位

（食品売上高百万円当りの廃棄物発生量） 34.67696kg / 百万円

（●2007年度＝44kg / 百万円、2007年度比＝78.8%

●2010年度＝35.64kg / 百万円、2010年度比＝97.3%）